Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

62115865

PUBLICATION DATE

27-05-87

APPLICATION DATE

15-11-85

APPLICATION NUMBER

60255027

APPLICANT :

CANON INC;

INVENTOR :

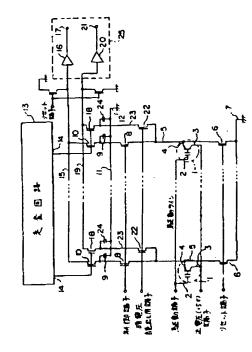
ISHIZAKI AKIRA;

INT.CL.

H01L 27/14 H04N 5/335

TITLE

PHOTOELECTRIC CONVERTER



ABSTRACT :

PURPOSE: To remove a noise due to the irregularity of a dark current from an output signal by providing optical information storage means and dark current storage means.

EUROPEAN PATENT OFFICE

CONSTITUTION: Optical information responsive to light quantity is stored by optical storage operation in a light emission storage period in an optical sensor cell 1. Optical information is stored in a capacitor 9. After refreshing period is finished, the cell is temporarily interrupted as a light interruption period. In this case, the cell 1 stored a dark voltage generated in a dark state. The dark voltage storage period and the light emission storage period are set to be the same time. Thus, the dark voltage is stored in a capacitor 24. After the dark voltage reading period is finished, a dark voltage reading terminal is set to L level, a refresh pulse voltage E_0 is applied to a drive terminal to set the cell 1 to a refresh state. After a certain constant time has elapsed, the refresh pulse voltage is set to L level. Then, the refreshing period is finished, and the light interruption period is finished, and the reset terminal is set to L level.

COPYRIGHT: (C) JPO

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

@ 公 開 特 許 公 報 (A) 阳

昭62 - 115865

@Jat, Cl,⁴

識別記号

庁内整理番号

⑩公開 昭和62年(1987)5月27日

H 01 L 27/14 H 04 N 5/335 7525-5F 8420-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全8頁)

6発明の名称

光電変換装置

⊕特 類 昭60-255027

韓出 願 昭60(1985)11月15日

逸 危発 明 쾁 大 \boxtimes 司 者 铪 木 敏 (72) 经 明 明 が発 明 古 油計 意出 願 キャノン株式会社 弁理士 山下 穣平 多代 型

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(4) **a**0 *b*;

1、条件の名称

北坡交換装置

2. 特許請求办義選

主導体トランシスタの制御電視的減上にキャパトク地域を輸入た光電を換集子を複数個配置し、 前記電電変換者子をライン様に1減予づつ動性機 限し、選択された光電を換去子の制御地極の電位 を輸記キャパック電機を介して精鋼し、商記制御位 地域的速にキャリアを蓄積し、その表積量に総理 た実にを設出す物性を行なう光電を設置を指揮に た実にを設出す物性を行なう光電と光路機を若し た実に変換者があり、電車を設定を表現した光路機を表積し ため電理分に相当する電用を表わらる時間起程 に適定と変強を一面記光器を基積手段に書えた速度 の主情報と、自記略電用の情報出りライン上に同 時に減出する情報を削削の情報出りライン上に同 時に減出することを持つとする光電変換 分置。

3 発明の詳細な説明

[充文上の科目分野]

未免別は光地変数な器。詳しては半事体トランジスクの訓練電機副連出にキャパング電極を備える光地変換表子を複数機能列した影車な数な器である。

[黄光投稿]

成ま、CCD、MOS下のイメージャンサを川いたTVカノデ、SVカノデ等において較り機能を持ったものがある。このようなエート戦り機能のあるTVカノデ、SVカノデ不を揃えている光電災機能のあるTVカノデ、SVカノデ不を揃えている光電災機能のある。12769号分報~特別網60-12769号分報に記載されている光電災機器がある。

この光電圧終装置はドウ体トディイスクの調測 電極点にキャイングを介している光センサナルを 複数個配列した光センサ活から減っている。

第3段は光明な数異なの回路回、ボル回はそのフィー・グ・チェートを示す過である。

不能知识 有疑例如下,我也从中央的1996年十十

特問明62-115865 (2)

! •

のキャパング選棒101 ・・・は熱効ラインに共通 に接続されていて、コングタ選棒102 ・・・は出 電圧端子に共通に接続されている。

そして製物端子は製物デインと接続されている。 さ

この爆動電子には、光センサセル100・・・を駆動するためのパルス信号が印加されるようになっており、光センサセル100・・・のエミッタ端で103・・・は重直信号ラインと接続され、リマット用のFET104・・・を介して共通に接続されると共にアース端子GNDと接続されている。

またFET104・・・のゲート電機はリセット 端子に共通に接続されている。

FET104 ・・・はスイッチング用の電界効果 トランジスタである。

順の付けラインは、FET105 ・・・を介して 前届キャパンタ105 ・・・と接続されると共にF ET107 ・・・のソース電機とも接続されてお サ、このFET107 ・・・のドレイン電機は水平

サット端子がしょべわのとき。 駅動電子に続出し 川のパルス付けを印加することにより、 光情報が 重視行けでインとに読出されて、 岩積ギャバシタ 106・・・に光情報が若描される。

このように読出し用のパルス付けがHレベルの 時に光センサモル(00 ・・・の読出しが開始し、 所定期間経過後には読出し用のパルス付けがLレ でルになり読出しが終了する。

また制御端子が長レベル、リセット端子が且レベルの際には、リフレッシュ動作状態となり、光セッサセレ100・・・に高量された光質優が商長される。

もしてリフレッシュ用のパルス信贷がしいべん になりリフレッシュ物性を終了せる。

つまり、次に再び読出し動作状態になるまでの 期間が光センサビル(30) にトレリヤを希腊する名 植期間である。

- また、お在回路108 の音出力端子からのはかぶ 信号は、ファトするタイ・シグに過ってPBT10 7 を進道にモンする。 新りまくンに共通に接続され、FET105 のデー 予事機は制御編了に共通にお続される。

また。FET197 のケール電機は変を回路198 ・の出力端子に接続される。

水平付けラインは、出力増製器109 を介して外 部出力端子と接続されると共にFBT119 を介し てアース編子GNDとも接続される。

またFET107 のゲート端子はリセット端子と 接続されている。

ここで用いているFET(10 は、水ゼラインを リセットするための選挙領集トランジスタである。

次に引3回の回路の動作を到4回のタイミング チャートにより説明する。

光ず、初脚端子及がリセット端子を打に目レベルにする。するとリセット期間には高値キャパック106・・・に高値された光端機がリセットされる。

そして光センサセル100 ・・・に蓄積されている光情報の読出しは、初朝端子が且レベル。 9

この支充回路108 の水平支在によって常品をデバック106 ・・・に高えられている光情報がシリアルに光平ライン上に読出され、出力増製器109 で増製された後に外部出力場子から出力される。

このように帯積キャパンタ106・・・に着えられた全ての光情報の成出しが終了すると、再び最初のリセット側間に戻る。

そして以上の動作が疑惑し行なわれる。 【発明が解決しようとせる問題点】

光電変数装置においては、任意の高精や間に光 センサセル内で発生する時間用のパーシャのため に、光センサセルから提出された出りはけに異な が含まれてしまうことがある。

このため従来から光センサマル内で発生する時 退権分に相当する出力信号を事前にレファレンス 乳情報として外無記憶装置に記憶し、このレファ レンス光情報よりのレファレンス用力信号と光セ フサセルから成出された実際の光情報の出力信号 を比較することによって細正を行ない、時間正に 毎日する連出域分子幹力しよっとしたものがあ

特別時62-115865 (3)

å.

しから、このような逆光の光波を使装置においては、糸流を換装置のシステム化を図ろうとする 場合は、別に外部回路が必要となるためにシッテムがより複雑化してしまうという問題がある。

水発明はかかる実状に震みなされたもので、光 地変機等子から設出した光緒報を蓄積する光微程 若積手段と共に光地変換業子から設出した暗地用 分に相当する電圧を著わえる暗電圧器積手段を輸 え、前記光情報器積手段に蓋えられた実際の光情 程と、前記略地圧器積手段に蓋えられた時地圧分 に相当する情報とを期間の出力ライン上に同時に 設出すことによって、時地圧分に相当する情報を 続せいサモルごとに適正し、その出力信号の中か ら暗地圧のパラフキに起因する舞音を終去するこ とを目的としている。

「周顕点を解決するための手段】

本色明は上記問題点を解決するために、 半身体 ドランプスタの制御電極節減上にキャパンタ電極 を備えた光電変換某手を複数個配置し、前記光電

で、恐惧することができるため、外部回路等が必 吹にならず、システム構成が平均にでき、低価格 の利用皮質装置を提供することができる。

(民施例1

以下 水光明の一支施例を指付図面に基づいて 詳細に説明する。

第1回は水災病例光電交換装置の回路図である。

この揺れおいて、符号1は光電変換者子である 光センサセルで、この光センサセル1は一次元的 に配対されている。

がセンサセル上のキャパシタ電板2は駆動ラインに決議に接続されると共に駆動端子に接続されると共に駆動端子に接続されており、光ナンサセル上のコレクタ電板3は出版出端子に共通に接続されている。

またたかいナセル1のエミックを持るは、重直 ディックと環境されており、この重力テインをは FETの名がして共通に環境され、FETのはア ・ 7端で7に投版される。

前式产品工作的第三人称形式技术电影上提升的

;

少数ボチャライン的にも出了づつ前次選択し、選択された光電変数 お子の翻翻 老極の 電位を前記 キャパシタ 市極を介して初調し、前記制調車 梅泊 流に 下です を若疑し、 その名 精質に 応じた 電流 を設出す 動作を 行なう 光電 変数 表面に おいて、前記光電変数 裏子から設出した た情報を 若は 子る光電変数 異子から 設出した 暗電 任分に 相当する 電視を 報信 手段に 若えられた 無道 に分に 相当する 電視を 別側の 情報 出 カライン 上に 回 時に 設出する 電視を 別側の 情報 出 カライン 上に 回 時に 設出する もの である。

f n: Iff }

日記の手段によって、略選用者は手段に考えられた略選用分に相当する情報を別例の情報出力ライン上に何時に説出すと共に確認用に相当する情報を光センサセルごとに補正し、出力信号の中から時間用のパラツキに起因する雑音を除去する。

- 従って - 確定形分に相当せる雑音をセンサ内

共通に接続されている。

また飛出ライン5にはFET8を介して、当中 パンク9とFET10のソース電極が接続されて 野リ、キャバング9はアーステイン11を介して アース端子12が接続されている。

・キャイングのは飛道蓋積用のキャイングである。 も、

FET10のデート電極は北条何路13の出力 端子14と接続され、FET10のドレイン電極 は水平テイン15を介して出力増幅器16と接続 されている。この出力増幅器16の出力側は外部 出力端子17と接続され、外部出力端子17から 出力電形が取出される。

またFET10のゲートを様はFET18のゲートを検さら接続されており、FET18のドレイン車棒は出力ライン19を立して出力消費器とりと接続されている。

この出力増配器20の出力領は各種出力電子2 まに接続されていて、外部出力電子21から出力 初ルが展出される。

時間昭62-115865 (4)

型にFET18のソース電腦はFET22を介して順利ライン5とお投稿されている。

本実施例では以上の他に、FET18のソース 市林とFET22間に垂直ライン23を介して キーパンタ24の一万の電極器が接続され、キャ パンタ24のもラー方の電極器は前記アースライ ン11に接続されている。

このキャパシク2.4が時電圧蓄積用のキャパシタである。

次に本実施例の動作について説明する。

第2図のタイミング・チャート図に示すように、光センサセル1・・・には光照射器種期間における光器植動作により、光道に応じた光情報を 番組する。

光子、光情報設出し期間になるまでの一定期間の間に、光センサセル1・・・は光照射によりキャリヤの希疑効性をする。そして、リセット期間においては制御端子及びリセット端子が共に目していたなり、キャバシクタに答えられた電荷をリセットする。

光センサセル1・・・に遊載された暗電距分に 制当する毛情報は、電電用級出し用端子を且レベル・リセット端子をしいべいとし、 懇勤端子に設 出し用のパルス電圧Eにを印加し、垂直ライン5 上に説出す。

このようにしてキャパシタ24に確電用が蓄積 される。

この暗電比較出し期間終了後に、暗電用談出用 端子をモレベル、リセット場子を且レベルとして、撃動端子にリフレッシュ用のバルス電相 E O を印加して 光モンサセル 1・・・をリフレッ によ状態にする。

そして、ある一定時間経過板にリフレッシュ用のパルス返用をしいべんにすると、リフレッシュ 明間が終了すると共に進光期間が終了し、さらに リセット端子をしいべんにする。

水に、変化回路(3の出力為了)4からの出力 ベルスがシフトする?(1ングに従ってFET 10、FET(8を馴然ナンする。

このボヤもなによってキャインタ生に高えられ

次に、「横貫端子を目しべか、リモッ・電子をし レベルとして、無効端子に説出し用のペルス電圧 が印加されると、光センサモルト・・に高積さ れた光質報は、単直テインでに設出される。

そしてキャパシタタに光情報が遊録される。

光智報読出し期間終了後、リセット端子を目してルにして駆動端子にリフレッシュ目のパルス電 出を印加すれば、光センサセル1・・・パロフ レッシュ状態となり、光センサセル1・・・内に 番値した光情報が消去する。

リフレッシュ期間終了後には、光モンサモル L ・・・を一時的に遮光し、遮光明間とする。

この数、光センサセル L・・・には暗状態にお いて名生する暗電圧の若積が行なわれる。

ここで確定圧蓄積期間と光照射蓄積期間とが何 り時間になるように設定する。

一次に、暗池川設治し端子とリセット端子を共に 出しべルにすることによって、リセット期間中に キャパシタ24に若えられた電荷をリセットする。

た光情 権が直列に 水平 きイン 1.5 上に続出される。また、この読出しに同関して、暗地圧分に相当する情報を出力テイン 1.9 上に読出す。

このように、水平ライン15上に設出された光 情報は、出力情報器16を通して外部出力端子 17に出力され、一方出力ライン19上に説出された時電田分に相当する情報は、出力時報器20 を通して外部出力端子21に出力され、この外部 出力端子から出力電圧が収出される。

そして一定期間抄には水平支が期間が終了し、 再びリセット期間に戻り、それ以降は、以上の動 作を繰り返し行なう。

本実施例における光電変換装置は以上のように 効性するため、暗電圧による推音を除去するため に、従来の光電変換装置のような仕無的な外部回 器も必要とならず、システム構成が平晶にできる から、低価格の光電変換装置にしたいという変型 にも記じることができるようになる。

前、上記当施例においては、個別ライン上に同時に統治された国際の支債権と、暗電用分に相当

羽開昭62-115865 (5)

する情報を出力回路部25において出力増幅器 L 6、20を用いて増幅し、外部に出力するように しているが、このような構成に限定されず、出力 回路部25を煮物増幅器等に置き換え、実際の光 情報からその中に含まれる時電圧分に相当する情 報を差し引いた分の光情報を外部に出力するよう にしたものであってもよいことはほうまでもない。

また水水塩例では、暗電用器は期間と光照射期間とを河時間に設定したがこれに模定されない。 例えば光センサセル1・・・における暗電圧の 発生量と暗電圧器は時間との間の関係を有効に利用することによって、高速圧器は時間を光照射時間より超かくし、出力回路部25の出力時観路1 6、20の利得を何々に調整したもの。または番は日キャパシグラ・・・、24・・・の値を調整することにより、1.記実施例と同等の結果が得られるようにしたものであってもよいことは言うまでもない。

男に本実施例では光センサセルを一次元的に変

図はものタイミング・チャート図、第3段ほ光電 変数装置の回路図 第4段はものタイミング・ 、 チャートを示すものである。

毎日の説明

1. は光電変換表子

2.位本4.77少点電腦

9 证光情报者摄手段

1.5 . 1.9 は情報出力ライン

2.4 证确地旧游抗手段

化维夫并维长 - 由 - 6 - 株 - 平

へたものについて説明したがられのみに展定されないことはほうまでもない。

[急明の効果]

上記のように、光池及要素子から読出した光報報を基礎する光情報器積手段と、光池変換素子が の設出した暗電圧分に相当する電阻を書りたる表現 電圧器積手段を輸え、前記光情報器積手段に表えられた時間と、前記時間と関係における情報を別個の出力ラテイン れた時間に設出すようにしたため、光センサセル から設出した実際の光情報を別個の出力ラテイン とに同時に設出すようにしたため、光センサセル から設出した実際の光情報を外部に出りますくい に、その中に含む暗電圧に相当する情報を光せに サセルごとに超過する構造を外部に出りを確定の サセルごとに超過する推進を検及置のように付加し な外部回路を必要としないために、システム構造 な外部回路を必要としないために、システム構造 を平易に5でき、経済的な光池変換装置にしたい という変化にも応じることができる。

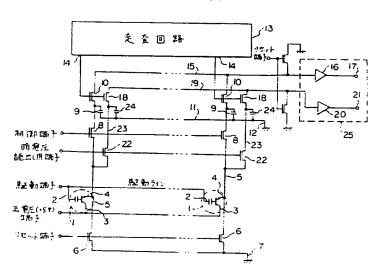
4. 図前の簡単な説明

第1 図は水実施例光電変換装置の回路図、第2

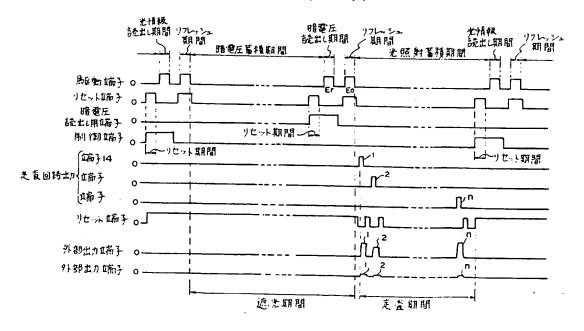
時間昭62-115865 (6)

の何のかか(当時に変更なし)



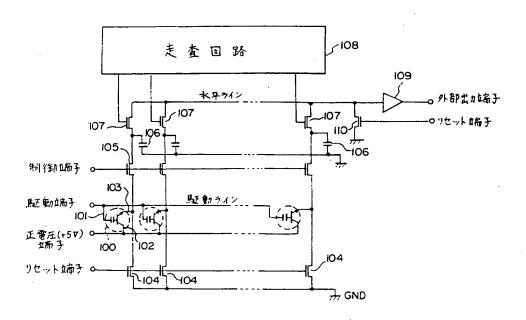


第 2 図

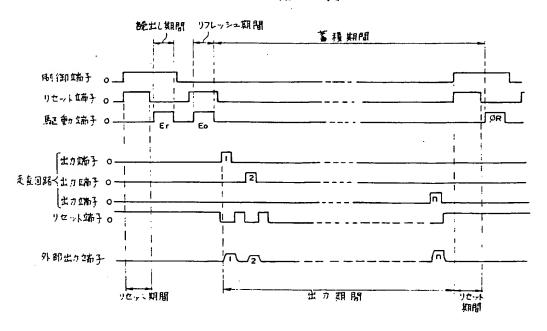


3月開昭62-115865 (プ)

第 3 図



第 4 図



35開曜62-115865(8)

手統補正恕(版)

昭和61年 2月12日

特許度長官 宇 賀 道 郎 殿

1. 事件の表示 明和60年特許顧第255027号

2. 花明の名称

光道变换装置

3. 補正をする者
 事件との関係。特許出顧人
 住所。東京都大田区下東子3丁目30番2号
 名称。(199) キーセーノーン 株 よ 会 北

4 . 代 押 人
 (年度 東京都港区席と門呈『日13番1号港と門40番ビル
 ・ 近名 (6538) 弁理士 山 下 線 東⁽¹⁾

5. 利用命令の日付 |昭和61年||**上月28日**

ら、 補正の対象 図面および委任状

- 7. 補正の内容
 - (i) 頼書に最初に孫付した図面の作書 別紙の面り(内容に変更なし)
 - (2) 委任状を別紙の通り補充する。



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)